

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	吹田市北部消防庁舎等複合施設	階数	地上10階、地下1階
建設地	吹田市佐竹台1丁目	構造	SRC造
用途地域	商業地域・第一種住居地域	平均居住人員	287 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2021年3月1日
敷地面積	3,864 m ²	作成者	竹本 和弘
建築面積	2,252 m ²	確認日	2021年3月17日
延床面積	16,692 m ²	確認者	三谷 学



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.6

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 ・災害対応拠点として、大規模災害時にも機能維持が可能な施設計画 ・機能性を重視した合理的で誰もが利用しやすい平面計画 ・周辺環境に配慮した外観計画 ・地球環境に配慮した施設計画	その他 特になし	
Q1 室内環境 ・サッシT-3採用などにより室内騒音の低減に配慮 ・昼光率が高くなる計画とし、電力負荷の低減に配慮 ・仕上材は全てF☆☆☆☆により、VOC放出量の低減に配慮	Q2 サービス性能 ・建築物移動円滑が誘導基準適用 ・十分な天井高と充実したリフレッシュスペースの確保 ・天然木材の使用など循環型社会の形成に貢献	Q3 室外環境(敷地内) ・緑豊かな千里ニュータウンに位置する施設にふさわしい、敷地周辺の街路樹をモチーフとした外観デザインにより周辺環境と調和
LR1 エネルギー ・熱負荷抑制の外皮や太陽光発電設備の採用	LR2 資源・マテリアル ・節水型水栓、節水型便器を採用し節水に努めている ・リサイクル材の使用により環境に配慮	LR3 敷地外環境 ・LCCO ₂ の排出低減に配慮 ・雨水流出抑制により負荷低減

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0154

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	吹田市北部消防庁舎等複合施設					
		建設地	吹田市佐竹台1丁目					
		用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				A		
①	CO2削減	★★★★☆				3		
②	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				2		
③	建物の断熱性	★★★★★				5		
④	エネルギー削減	★★★★☆				3		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.3	3	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				4.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.6	3	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応拠点として、大規模災害時にも機能維持が可能な施設計画 ・機能性を重視した合理的で誰もが利用しやすい平面計画 ・周辺環境に配慮した外観計画 ・地球環境に配慮した施設計画 						